

**Overview:** キリストの天の務めにおいて、彼と協力する道は、i) 大勢の証し人に囲まれて、忍耐をもってレースを走ること、ii) 信仰の創始者、完成者イエスをひたすら見つめることです。もし私たちがレースを走らず、イエスをひたすら見つめることがないなら、キリストの天の務めにあずかることはできないので、地上で天的な生活をすることはできません。

**I. 「こういうわけで、こんなにも大勢の証し人である雲に囲まれているのですから、私たちも、あらゆる重荷と、いとも容易にまたいつく罪をかなぐり捨てて、前に置かれているレースを、忍耐をもって走ろうではありませんか」(ヘブル 12:1):**

**A. 雲は民を導き、民が主に従うためです。主は雲の中にいて、民と共にいます。ギリシャ語で「証し人」は、殉教者の意味を含んでいます:**

1. 私たちは信仰の人々と共に、主の臨在と彼の導きを持つことができます。信仰の人々、召会の人々はみな雲です。主の臨在を尋ね求める最上の方法は、召会に来ることです。
2. だれでも主の導きを尋ね求めているなら、雲、召会に従わなければなりません。主が雲の中にいることは、彼が信仰の人々と共にいることを意味しています。
3. 私たちは信仰の人々であるので、今日の雲であり、人々は私たちに従うことによって主に従うことができます。主を尋ね求める人たちは、私たちと共にある彼の臨在を見いだすことができます。

**B. クリスチャンの生涯はレースです。すべての救われたクリスチャンは、このレースを走って、賞を勝ち取らなければなりません。それは一般的な意味での救いではなく、特別な意味での褒賞です。使徒パウロはそのレースを走り、賞を勝ち取りました:**

1. 重荷は、重いもの、重圧、障害物です。レースの走者はあらゆる不必要な重いもの、重荷となる重圧を脱ぎ捨てます。それは、彼らが何の妨げも受けず、そのレースに勝利を得るためです。
2. この文脈の独特な、またいつく罪は故意の罪であり、聖徒たちと共に集まることを捨てさせ、神のエコノミーの新契約の道を放棄させ、ユダヤ教に戻らせるものでした。重荷も、またいつく罪も、ヘブル人信者たちを妨げ、新契約の道においてイエスに従うことができないようにし、彼らが天的なレースを走ることができないようにしました。

**C. 私たちは忍耐をもって走り、主が私たちの心を神の愛の中へと、またキリストの忍耐の中へと導いてくださるよう求める必要があります:**

1. これは神に対する私たちの愛であり、私たちの心の中に注がれた神の愛から出て来たものです。
2. これは、私たちが享受し経験したキリストの忍耐をもって忍耐することです。

**II. 「私たちの信仰の創始者、また完成者であるイエスを、ひたすら見つめていなさい。彼はご自分の前に置かれた喜びのために、恥をもちとわなないで十字架を耐え忍び、そして神の御座の右に座しておられるのです」(ヘブル 12:2):**

**A. 私たちは他のすべてのものから目を離し、わき目もふらずにイエスをひたすら見つめる必要があります。イエスは信仰の創始者、すなわち信仰の創設者、開始者、源、要因です:**

2. 彼は巨大な磁石のように、彼を尋ね求める者たちをみなご自身へ引き寄せます:

**B. 信者たちの信仰は、実は彼ら自身の信仰ではなく、彼らの中へと入って彼らの信仰となったキリストです:**

2. 私たちの天然の人には信じる能力はありません。私たちは自分自身によっては信仰を持っていません。

4. 私たちがイエスをひたすら見つめているとき、命を与える霊としての彼は、彼ご自身を、すなわち彼の信じる要素を私たちに注入します。

5. この信仰は、私たち自身から出たものではなく、彼から出たものです。彼は信じる要素としての彼ご自身を私たちの中へと分け与えます。それは彼が私たちに代わって信じてくださるためです。

6. このゆえに、キリストご自身が私たちの信仰です。私たちは、私たちの信仰としての彼によって、すなわち、彼の信仰によって生きるのであって、私たち自身の信仰によって生きるものではありません。

**C. 信仰は実体化する能力、第六感であり、まだ見ていない事柄や望んでいる事柄を実体化し、実体を与える感覚です:**

2. 私たちの五感の機能は、外側の世界の事柄を実体化し、客観的なすべてのものを私たちの中へと伝達して、私たちの主観的な経験とならせることです。

3. 信仰、すなわち、私たちの信仰の霊は、目が見て、耳が聞いて、鼻がかぐように、見えない霊の世界にあるすべてのものを、私たちの中へと実体化する器官です: ①私たちは、私たちの信仰の霊、ミングリングされた霊を活用して、主について経験したものを信じ、語るなければなりません。②信仰は、聖霊とミングリングされた私たちの霊の中にあり、思いの中にはありません。疑いは、私たちの思いの中にあります。

4. 私たちは見えるものではなく、見えないものに目をとめ、それを見つめます。なぜなら、見えるものは一時的ですが、見えないものは永遠であるからです: ③クリスチャン生活は、見えないものの生活です。④召会の墮落は、見えないものから見えるものへの墮落です。⑤主の回復は、彼の召会を見えるものから見えないものに回復することです。

**D. 信仰は、「神はある」ことを信じることです:**

1. 信仰がなくては、神を喜ばせ、神を幸いにするにはできません。

2. 「神に進み出る者は、『神はある』ことを信じ…るはず…です」(11:6): ⑥神はあることを信じることは、私たちがないことを暗示します。彼はあらゆることでただひとりの方、唯一の方でなければならず、私たちはあらゆることで無でなければなりません。⑦私は何ものでもあるべきではありません。私は存在すべきではありません。ただ彼だけが存在すべきです。「生きているのはもはや私ではありません。キリスト…です」。⑧タルソのサウロが回心した時、主は彼に「私は…イエスである」と告げました。⑨これが信仰です。「ああ、何という喜び。何も持たず、無であり、栄光の中の生けるキリスト以外何も見ず、地上で彼の権益のほか何も顧慮しないことの喜び」。

**E. イエスは、私たちの信仰の完成者、成就者、完結者です:**

1. 私たちが絶えずイエスをひたすら見つめる時、彼は、私たちが天のレースを走るのに必要とする信仰を成就し、完成します。

2. 私たちはみな性質において同じ信仰を持っていますが、私たちが持っている信仰の量は、私たちがどれほど生ける神と接触し、彼を私たちの中に増し加えているかにかかっています:

3. 私たちの再生された霊、信仰の霊は、組織化され、強奪されたサタンの世に打ち勝つ勝利です。

4. 抑制できない無制限の偉大な信仰の力は、多くの人たちを動機づけて主のために苦難を受けさせ、命の危険を冒させ、勝利を得ている遣わされた者また殉教者とならせて、信仰の中にある神の永遠のエコノミーを完成させます。

**F. ヘブル第12章2節によれば、イエスはご自分の前に置かれた喜びのために、恥をもちとわなないで十字架を耐え忍び、神の御座の右に座しています:**

3. もし私たちがそのようなすばらしい、すべてを含む方としての彼をひたすら見つめるなら、彼は天、命、力を私たちに供給し、彼であるすべてをもって私たちに浸潤し、注入します。それは私たちが天のレースを走り、地上で天的な生活をする事ができるためです。彼はこのようにして、生涯のすべての道のりを私たちに経過させて、私たちに栄光の中へと導き入れ、もたらしめます。

### 経験①: 雲(大勢の証し人)の中に主がおられ、雲に従うことで主に従う

ヘブル 12:1 こういうわけで、こんなにも大勢の証し人である雲に囲まれているのですから、私たちも、あらゆる重荷と、いとも容易にまといつく罪をかなぐり捨てて、前に置かれているレースを、忍耐をもって走ろうではありませんか。

旧契約の聖徒たちは、信仰の証し人にすぎませんでした。彼らのだれも、信仰の創始者、源、完成者、完了者ではありませんでした。ヘブル人への手紙第 12 章 1 節で、信仰の証し人は、私たちを囲んでいる「証し人である雲」であると考えられます。主は雲の中におられ、彼の民と共におられました。イスラエルの子たちは、雲の動きにしたがって主に従いました。雲がある所に、主もおられました。さらに、雲は民を導き、民が主に従うためです。あなたは主を尋ね求める心を持って、ヘブル人への手紙第 11 章を読むなら、信仰の民によって、主の臨在と主の導きを持つことができるという感覚を、直ちに持つでしょう。あなたは雲を持つなら、主を持つでしょう。しかし、あなたは雲を見失うなら、主をも見失うでしょう。信仰の人々、召会の人々はみな雲です。主の臨在を尋ね求める最上の方法は、召会に来ることです。だれでも主の導きを尋ね求めているなら、雲、召会に従わなければなりません。主が雲の中にいることは、彼が信仰の人々と共にいることを意味しています。私たちは信仰の人々であるので、今日の雲であり、人々は私たちに従うことによって主に従うことができます。主を尋ね求める人たちは、私たちと共にある主の臨在を見いだすことができます。主は私たちがいる所におられ、私たちがいる所は、今日、主が行動している方向です。

#### 在職青年編

あなたは召会生活の中で大勢の証し人である雲に囲まれることによって、主に従って行くことができます。これらの証し人は豊かなキリストの経験を持っているので、彼らとの交わりの中に主がおられ、彼らに従うことで主に従うことができます。

日本の社会では、在職青年が会社から来るプレッシャーやストレスのゆえに容易に信仰が弱くなり召会生活から離れていってしまいがちです。このようなサタンとサタンの体系であるこの世の締め付けに対抗するために、あなたは雲、証し人に囲まれる召会生活をすべきです。例えば、会社で残業が多く、さらに残業の後、飲み会に付き合い合わされるので疲弊してしまう、同僚との競争にさらされ人間関係がぎくしゃくするなどがあります。証し人、信仰の人である兄弟姉妹はこれらの経験を主の中で乗り越えてきていますので、あなたを導き主にもたすことができます。ですから彼らと自分の状況について具体的に細かく交わってください。

召会生活の中の交わりをあなたの天然の好みに従って実行してはいけません。好みに従った交わりは特別なグループを形成し、召会に分裂をもたらします。また、あなたの天然の好みに従った決定に賛同してもらうため、意図的によく分からない人を選んで交わってもいけません。これらの交わりは雲に囲まれた召会生活ではありません。あなたは必ず信仰の人、証しのある人、経験のある人と交わり、導いていただく必要があります。そして、彼らと交わる時、自分の天然の意見を主張するのではなく、あなたの心を開き、霊を活用して、真実な交わりを持ってください。

召会の墮落は、見えないものから見えるものへの墮落です。主の回復は、彼の召会を見えるものから見えないものに回復することです。あなたは、証し人とキリストから益を得るために、あなたの心や霊の状態を顧みてください。召会生活は外側の活動を含みますが、あなたが益を受けるかどうか、あなたが成長するかどうかは、あなたの中にある罪、欠点、弱さを告白し、心を開き霊を活用することにかかっています。そうすれば、あなたは徐々に成長することができます。会社においても召会においても有益な人材となります。アーメン！

### 経験②: 信仰は実体化する能力、第六感であり、まだ見えていない事柄や望んでいる事柄を実体化し、実体を与える感覚である。このような信仰は御言葉を聞くことから来る

ローマ 10:13 なぜなら、「主の御名を呼び求める者はすべて救われる」からです。14 それでは、その中へと信じたことのない方を、どのように呼び求めるのでしょうか？ 聞いたことのない方を、どのように信じるのでしょうか？ 彼を宣べ伝える者がいなくて、どのように聞くのでしょうか？ 15 遣わされないのに、どのように彼を宣べ伝えるのでしょうか？ 「福音の喜ばしいおとずれを告げ知らせる者の足は、何と美しいことであろう！」と書かれているとおりです。17 ですから、信仰は聞くことから来るのであり、聞くことはキリストの言葉によるのです。

信仰は、私たちの中へと注入された神聖な能力です。…私たちが神と接触し、彼の言葉に聞き入るときはいつでも、神ご自身によって私たちの存在の中へと注入された実体化する能力は、神の事柄、望んでいる事柄、見えない事柄を自然に実体化し始め、私たちは単純に信じます。…信仰は、私たちの天然の誕生から持っていた五感に加えられた特別な感覚です。この感覚は神の事柄、見えない事柄を実体化します。

私たちは福音の宣べ伝えを通して、この実体化する感覚を得ました。正しい福音の宣べ伝えは、単に教える事柄だけではありません。それはまた伝達の事柄でなければなりません。罪人に福音を宣べ伝えるために、私たちはまず主のものを、主からのものを受け取らなければなりません。それから、私たちが宣べ伝えているとき、私たちが主から受け取ったものが、電気のように、聞いている人たちの中へと入ります。私たちが語り、人々が私たちを見て、私たちに耳を傾けている間、何かが自然に、無意識に彼らの中へと注入されます。彼らは頭を振って、私たちの宣べ伝えに同意しないかもしれませんが、内側深くでは私たちが語っていることを信じるでしょう。ある人たちは信じるのは愚かであると自分自身に言い聞かせるかもしれませんが、彼らの内側で何かが反応し続け、「主イエスよ、あなたに感謝します。あなたは実にすばらしいです。主よ、あなたは私の救い主です」と言う点にまで彼らをもたらします。ある要素が彼らの存在の中へと注入されたので、彼らは主を信じることができます。これは神によって、宣べ伝える者を通して信仰が注入された結果です。

#### 中高生編

人には五感(視覚、聴覚、触覚、味覚、臭覚)が体の中に備わっています。信仰は第六番目の感覚であり、それは生まれつき持っている五感とは異なります。信仰は天然の能力ではなく、神の言葉を聞くことから来る信じる能力です。神の言葉を聞けば聞くほど、何かが自然に聞く人の中に注入されます。この注入により、自然に信じる力が芽生えてきます。ですからあなたは毎日神の言葉を読んでください。信仰は天然の能力ではありませんので、神の言葉を読まなければ信仰の感覚は成長することができません。特にあなたが御言葉を読んだ後、それを祈り読みする時、信仰があなたの中に注入されます。御言葉を読んで、信じられないとか、あり得ないと感じて、御言葉を祈り読みしているうちに、不信仰は取り除かれ、信仰があなたの中に注入されます。

クリスチャン生活はあなたの天然の能力を用いて努力奮闘することではありません。それは、a) 神の言葉を聞く、b) 神の言葉から信仰が注入される、c) 信仰のゆえに神によって喜ばれ、神の大いなる祝福にあずかる、d) 信仰のゆえに、周りの人を祝福する祝福の源となることです。ハレルヤ！

ヘブル 11:6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。



### 経験③: イエスをひたすら見つめて、クリスチャン・レースを走る

クリスチャンの生涯はレースです。すべての救われたクリスチャンは、このレースを走って、賞を勝ち取らなければなりません。…レースを走り、賞を勝ち取った使徒パウロは、クリスチャン生活をレースにたとえた唯一の人でした。彼はヘブル人への手紙でヘブル人信者たちにレースを走るように命じて、言っています、「前に置かれているレースを、忍耐をもって走ろうではありませんか」(12:1)。

このレースには多くの反対があります。こういうわけで、私たちは忍耐をもってそれを走らなければならないのです。これが意味するのは、キリストのレースを走るために、私たちは忍耐をもって反対を受けなければならず、決して魂の中で疲れたり、弱々しくなったりしないということです。

テサロニケ人への第二の手紙第3章5節でパウロは、「主があなたがたの心を、神の愛の中へと、またキリストの忍耐の中へと、導いてくださいますように」と結んでいます。主はその霊の導きによって私たちの心を導き、その霊を通して神の愛が私たちの心の中へと注がれました。テサロニケ人への第二の手紙第3章5節における神の愛は、神に対する私たちの愛であり、私たちの心の中へと注がれた神の愛から出て来たものです。積極的な面で、私たちは神の愛を享受する必要があります。それは私たちが神を愛して彼のために生きるためです。消極的な面で、私たちはキリストの忍耐にあずかる必要があります。それは彼が神の敵サタンに敵対して立ったように、私たちが苦難を忍耐するためです。

「ひたすら見つめ」(ヘブル 12:2)と訳されたギリシャ語は、他のものすべてから目を離し、わき目もふらずにひたすら見つめることを意味します。レースの走者は、百メートル走のように、他のすべてのものから目を離し、わき目もふらずに目標を見つめます。この節でパウロはこう言っているかのようでした、「ヘブル人の兄弟たちよ、そこに立って考えたり、見回したりしてはなりません。あなたがたはキリスト以外のすべてのものから離れて、わき目もふらずに彼を見つめなければなりません。これがレースを走る方法です」。

### 中高生編

現在の時代において、若者はできるだけ大学を卒業すべきです(そうでなくても、高校卒業後、短大や専門学校などで専門の技能を学ぶ必要があります)。従って中高生の学校生活は、大学受験のためのレースです。大学受験を検討するとき、将来の就職のことを考えた上で受験先を決定すべきです。なぜなら、ある学問は教養のためには役に立ちますが、就職にはほとんど何の役にも立ちません。また、ある学問はあなたが将来希望している職業とは無関係です。将来どんな職業に就きたいのかをある程度検討に入れた上で、大学と学部を選定してください。

大学受験のレースを走る上で、あなたはクリスチャン生活自体がレースであることを認識すべきです。レースや戦いは苦手なので、容易で楽しい中高生生活を歩みたいと考えてはいけません。大学受験が終わっても、ビジネス・ライフで別のレースがあります。クリスチャンの生涯はレースです。

大学受験のレースにおいて、クリスチャンのレースを走ってください。あなたは勉学においてキリストをひたすら見つめ、彼を知恵、理解力、暗記力、忍耐力などとして経験すべきです。そして召会生活を尊び、忙しくても時間を贖って、朝ごとの復興、ドリップ・イリゲーションの祈り、福音、顧みなどを実行し、主日集会に参加してください。忙しい中で召会生活を実行できなければ、結局あなたは召会生活をいつまで経っても実行できないでしょう。主の恵みを取り、自分を甘やかさないようにする必要があります。互いに励まし合い、レースを走ることができますように！ アーメン！

### 経験④: 信仰とは神が唯一の「ある」であり、私たちは「ない」とであると信じることである

神に進み出る者は、「神はある」ことを信じるはずですが、これはとても簡単です。神はただ、「彼はある」を信じることをあなたに要求されます。「ある」という動詞は、実は私たちの三一の神の神聖な称号です。出エジプト記第3章で、モーセは神に、彼の名は何であるかと尋ねました。神は、彼の名は「私は、『私はある』である」と答えました。私たちの神の御名は、「ある」という動詞です。彼は、「私は、『私はある』である」です。彼は唯一の方です。

信仰とは何でしょうか？ 信仰とは、あなた自身が何をやるのもやめることです。あなたは無です。信仰はあなたを神に結び付けて、神をある唯一の方とします。私はありません。ですから、私は、妻を愛する者であるべきではありません。それは、私の妻を愛されるキリストであるべきです。彼はあります。私はありません。私は買い物に行く者となるべきではありません。彼がその方であるべきです。

彼はご自身が創始したものを成就し、ご自身が開始したものを完結されます。私たちが絶えず彼を仰ぎ望むなら、私たちが天のレースを走るのに必要とする信仰を成就し、完結します。いったんキリストが私たちの内側にこの信仰を創始すると、決してそれをあきらめません。…私たちが主に祈り、彼と交わり、聖書を祈り、召会の集会に参加し、霊的メッセージを聞き、霊的書物を読むとき、信仰の完結者として、彼は信じる要素また能力として私たちの中へと絶えず注入されます。…そのような信仰は、私たちがキリストとの有機的な結合の中へともたらします。それはまた絶えずこの有機的な結合を増し加えます。彼と私たちとの有機的な結合の増し加わりは、キリストが私たちの内側で増し加わり、成長することです。…これが主によって完成されつつある私たちの信仰です。

### 在職青年編

ビジネス・パーソンであるあなたは、サタンの罠に陥って高ぶることがないように警戒する必要があります。一旦高ぶると、あなたはサタンの追従者になってしまうからです。高ぶりは、あなたのクリスチャン・レースのためのあらゆる良きものを破壊してしまいます。例えば、あなたは会社で同僚よりも早く出世することができたとしても、あなたもあなたの同僚も努力奮闘していますが、あなただけが出世することができました。この出世は、主の祝福、兄弟姉妹の祈りから来ています。従って、あなたは心の中で高ぶって、「自分の能力は大したものである」と決して言うてはいけません。あなたは心の中で高ぶってつぶやいても誰も聞いていないので、少くも大丈夫だと考えてはいけません。サタンはこの高ぶりを聞いており、あなたをサタンの追従者にしてしまうのです。あなたは自分がサタンに対抗できるなどと決して考えてはいけません。高ぶりに対して警戒するとは、このような心の中の高ぶったつぶやきを徹底的に対処することです。

あなたは信仰によって、「宇宙の中で神だけが『ある』方であり、私は『ない』者である」と信じ、宣言してください。神は愛であり、知恵であり、力であり、すべてです。しかし、あなたは、愛ではなく、知恵でもなく、力でもなく、何でもありません。もしあなたがこのように信じるなら、あなたは祝福され、周りの人に対する祝福の源となることができます。ハレルヤ！

O the joy of having nothing, being nothing, seeing nothing  
But the living Christ in glory, and being careful for nothing.  
O the joy of having nothing, being nothing, seeing nothing  
But the living Christ in glory, and His interest down on earth.

## 引用聖句:

**Ⅰ. 「こういうわけで、こんなにも大勢の証し人である雲に囲まれているのですから、私たちも、あらゆる重荷と、いとも容易にまたいつく罪をかなぐり捨てて、前に置かれているレースを、忍耐をもって走ろうではありませんか」(ヘブル12:1):**

民9:15 さて、幕屋が建てられた日に、雲は幕屋、証しの天幕を覆った。夕方から朝まで雲は幕屋の上にあつて火のように見えた。16 いつもこのようであった。昼は雲が幕屋を覆い、夜は火のように見えた。17 雲が天幕から上るときはいつも、すぐイスラエルの子たちは出立した。そして雲がとどまる場所に、イスラエルの子たちは宿営した。18 イスラエルの子たちはエホバの命令によって出立し、エホバの命令によって宿営した。雲が幕屋の上にとどまっている間、彼らはとどまって宿営した。

ヘブル8:2 聖所である真の幕屋の奉仕者となっております。この幕屋は、人が張ったものではなく、主が張られたものです。

Iコリント9:24 あなたがたは知らないのですか？ 競技場で走る者はみな走りますが、賞を受けるのはただ一人です。あなたがたは賞を得るために、このように走りなさい。

IIテモテ4:7 私は良い戦いを戦い抜き、行程を走り終え、その信仰を守り通しました。

IIテサロニケ3:5 主があなたがたの心を、神の愛の中へと、またキリストの忍耐の中へと、導いてくださいますように。

**Ⅱ. 「私たちの信仰の創始者、また完成者であるイエスを、ひたすら見つめていなさい。彼はご自分の前に置かれた喜びのために、恥をもいとわないで十字架を耐え忍び、そして神の御座の右に座しておられるのです」(ヘブル12:2):**

ローマ3:21-22 しかし今や、律法とは関係なく、…神の義が明らかにされ…ました。すなわち神の義は、イエス・キリストの信仰を通して、信じるすべての人にもたらされました。

ガラテヤ2:16 それでも、人が義とされるのは、律法の行ないに基づいてではなく、イエス・キリストにある信仰を通してであることを知って、私たちもキリスト・イエスの中へと信じたのです。それは、律法の行ないに基づいてではなく、キリストにある信仰に基づいて義とされるためです。

ヘブル11:1 さて信仰とは、望んでいる事柄を実体化することであり、見ていない事柄を確認することです。

IIコリント4:13 また、「私は信じた。それゆえに私は語った」と書いてあるとおり、同じ信仰の霊を持っているので。

4:18 私たちは見えるものではなく、見えないものに目をとめます。なぜなら、見えるものは一時的ですが、見えないものは永遠であるからです。

ヘブル11:6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。というのは、神に進み出る者は、「神はある」ことを信じ、彼を熱心に尋ね求める者たちに報いてくださる方であることを、信じるはずだからです。

ヨハネ8:58 イエスは彼らに言われた、「まことに、まことに、私はあなたがたに言う。アブラハムが存在する以前に、『私はある』」。

ヘブル2:10 万物がその方のために存在し、万物がその方を通して存在する方が、多くの子たちを栄光へ導き入れるのに、彼らの救いの創始者を、苦難を通して成就されるのは、彼にふさわしいことでした。

あなたたちに出会って  
中国語より翻訳

遇見你們  
中補751

1. イエスに出会ってから、  
無条件の愛を知る。  
愛のゆえにわかれに来てすくい  
よわさ負うあまいいやし！  
あなたがたに出会い、  
ゆたかな嗣業を知る。  
くものようかこまれて一われ  
まん足、しあわせのなか。  
主の愛情すたれず  
主の信実は欠けず  
いのち供給完備新鮮で  
からだにけつ合さす。  
この世を捨てるのは  
栄光の嗣業あるから。  
いのち得さすやくそく  
今にちひやくばいを得る。

2. 途じょう、めぐみゆたか、  
兄弟まいの供給は無限。  
主を愛する愛でわれ愛し、  
まえむき一にはげます。  
よわいときともに泣き、  
しっ敗しておれるも  
こころはかんげきのみ。  
わが成長ながよろこび。  
さい愛の兄弟姉妹  
それゆえさん美す。  
れい、たましいすべては  
よろこんでゆだねる。  
生けるいけにえとして  
御まえに立ちよろこばす。  
兄弟たちのいるところ一に、  
生ける一みち一がある。

1. 遇見耶穌，我纔相信，  
有一種愛果真沒有條件；  
愛使祂來救我並住我心，  
背負我的軟弱，醫治甘甜。  
遇見你們，我纔知道，  
我的產業竟是如此豐盛；  
弟兄姊妹如同雲彩圍繞，  
我真滿足活在幸福之中。  
祂的愛情不會毀損，  
祂的信實從不短缺，  
生命供應全備、常新，  
帶我與祂身體聯結；  
為祂我願撇下世界，  
因我有更榮耀基業；  
主已應許我得生命，  
換來百倍，就在今生。

2. 奔跑路上，主恩豐滿，  
應時、多方，你們供應無限；  
你們愛主，常激勵我向前，  
也用這愛愛我，何其深遠；  
軟弱，陪我同哭主前；  
失敗，也要跌在你們中間。  
走過日子，我心只有感恩，  
我的成長、喜悅都在你們。  
我心讚美，為著你們；  
弟兄姊妹最愛最親。  
我靈、我魂、我整個人，  
樂意全然信託你們；  
我們成為一個活祭，  
主前侍立，討主歡喜，  
無論何往，放膽舉步，  
有弟兄處就有活路。